

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2020年（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。

2. 競技場の使用について

- (1) ウォームアップ場は補助競技場を原則とする。各練習場の練習は競技役員の指示によって行う。
- (2) 投擲の練習はメディスンボールのみとし、競技場の外に投擲練習場を設ける。出場種目ごとに次の決められた時間帯で行うこと。ただし、練習できるのは出場選手に限る。

男子円盤投	7:50~8:30
女子円盤投	9:20~10:00
男子砲丸投	12:50~13:30
女子砲丸投	13:50~14:30

- (3) 補助競技場は全天候舗装なのでスパイクの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。
- (4) 更衣室は設置しない。
- (5) 救護本部は競技場内の医務室に設置する。医務室を利用する場合は引率責任者と共に来室すること。

3. 競技者の招集について

- (1) 第1招集場所は雨天練習場に設置する。最終招集場所は現地とする。
- (2) 第1招集 競技1時間前までに雨天練習場に設置している用紙に○をつける。
記入のない場合は棄権とみなす。
- (3) 最終招集は現地招集とする。点呼を受けない者は棄権とみなす。
- (4) 招集時間は次の通りとする。招集に遅れた者は棄権とみなす。

	第1招集	最終招集開始時刻	最終招集終了時刻
トラック競技	開始1時間前まで	競技開始20分前	競技開始10分前
フィールド競技	開始1時間前まで	競技開始30分前	競技開始20分前

(5) 招集の手順

- 招集開始時刻から招集完了時刻までに競技服装になっておくこと。
その際に、ゼッケン、腰ナンバーカード及びスパイクシューズの点検を受ける。
この招集を受けなかった選手は失格になる。(代理人不可)
ゼッケン、腰ナンバーカードは招集までにつけておくこと。

4. 競技運営について

- (1) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンをはける。
- (2) 計時方法は写真判定(1/100秒)とする。
- (3) 短距離では事故防止のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (4) 競技場での競技前の跳躍・投擲練習は競技役員の指示によって行うこと。
- (5) 競技者に対する助力については認めない。競技規則144条2の項を適用する。
- (6) 抗議は原則認めない。ビデオ等での抗議は対象としないこととする。

5. 競技による入退場について

- (1) 入場はすべて競技役員の誘導による。
- (2) 走り終わった者はバックストレート側のみ利用し、スタート地点へ戻り荷物を持って退場すること。
その際、競技の妨げにならないようにすること。
- (3) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。
- (4) 競技終了後、準備されている消毒液で手指を消毒すること。

6. 腰ナンバーカードについて

- (1) 競技場より貸し出した腰ナンバーカードを使用すること。
- (2) 雨天練習場にて第1招集時に各自で指定の腰ナンバーカードを受け取ること。
- (3) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のナンバーカードをつけなければならない。なお、跳躍種目の競技者は、背部または胸部のみでもよい。
- (4) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードをランニングパンツ右側上部やや後方につける。
競技終了後フィニッシュ地点で係に返却すること。

7. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競技
走高跳	男子	1m35	1m40 1m45 1m50 1m55 1m60 1m63 … 以上3cmずつ
	女子	1m20	1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m48 … 以上3cmずつ
棒高跳	男子	2m00	2m00 2m20 2m40 2m60 2m80 3m00 3m10 … 以上10cmずつ

※ 当日、練習・競技開始の高さは変更する場合がある。

※ 記録会形式で行うためジャンプオフは行わない。

8. 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用すること。
また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいけません。

9. 記録について

- (1) 記録について今大会は3密を防ぐために貼りだしは行わない。すべての記録に関してはアスリートランキングHPにて確認すること。また、速報は電光掲示にて確認すること。

<http://www.athleteranking.com/>

10. ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは個別で行うこと。
- (2) 競技場入退場時間内に行うこと。
- (3) 補助競技場を原則とする。芝生内は一切、立ち入り禁止とする。
- (4) 投擲練習は指定の練習場を指定時間内で利用しても良い。
- (5) メイン競技場での練習は、許可された時間帯以外は認めない。
長距離種目出場者に限り競技場開門時～8:40まで認める。
ハードル種目出場者に限り競技場開門時～13:40まで認める。
- (6) 引率責任者(保護者)は補助競技場の利用・観戦はできない。

11. 応援について

- (1) 今大会は新型コロナウイルスの感染防止を考慮し応援は行わないこと。

12. 待機場所について

- (1) 選手はメインスタンド、引率責任者(保護者)に関してはバックスタンドを利用すること。
- (2) 引率責任者(保護者)に関しては入場時にチェックシート(2部)を提出すること。
- (3) 各校指定の場所をとることは禁止とし、各自待機場所を確保すること。その際、貴重品等の盗難防止に努めることとする。選手はできる限り、メインスタンド待機時間を最小限にすることを努める。
- (4) 各席、2席以上空けて待機すること。

13. メイン競技場入場について(選手・引率責任者)

- (1) 競技に参加する選手のみ入場できることとする。ただし、引率責任者(保護者)はバックスタンドのみ入場できるものとする。

	生徒(競技に出場する選手)	引率責任者(保護者)
Aブロック 1日目AM	7:30~12:30 Cゲート	7:30~12:30 Aゲート
Bブロック 1日目PM	12:30~17:00 Cゲート	12:30~17:00 Aゲート

※B・Dゲートは封鎖する

- (2) 競技終了後は速やかに退場し引率責任者と共に帰宅すること。
- (3) 競技場入退場時間を守るように協力すること。
- (4) 引率責任者との待ち合わせは競技場外で行うこと。

14. チェックシートについて

- (1) 競技場に入場する際必ず提出すること。
(選手) Cゲート入場時、係に提出すること。
(引率責任者) Aゲート入場時、係に提出すること。

15. 新型コロナウイルス感染防止によるお願いとご協力

- (1) 「ユニバー記念競技場(補助競技場)をご利用される方へ」を必ず一読し、守ること。
- (2) 社会体育施設の再開時の感染防止策チェックリスト(利用者向け)のチェックを確認し参加すること。
- (3) 競技場内で体調が優れなくなった場合は大会本部まで連絡すること。
その際、本部にてその後の対処を相談し処置を行うものとする。また、体調が急変した場合は競技には参加できないものとする。
- (4) 競技に関する以外の時はマスクを着用すること。その際、熱中症対策を踏まえマスク非着用時は人との間は2m以上離れること。

16. その他

- (1) 貴重品は各自で責任を持ち、忘れ物のないように注意すること。
- (2) ゴミは各自で責任をもって持ち帰ること。
- (3) ABC会議場前通路は役員のみ使用。その他は通過・入場を認めない。
- (4) 選手変更は認めない。種目変更は認めない。
- (5) 各校ミーティングは行わないこととする。
- (6) 公園指定の駐車場は混雑が予想されます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- (7) 競技主催者側でも消毒液を準備するが、各自除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。
- (8) 競技場・補助競技場及びスタンド等、施設内では大きな声で会話、応援等をしないこと。